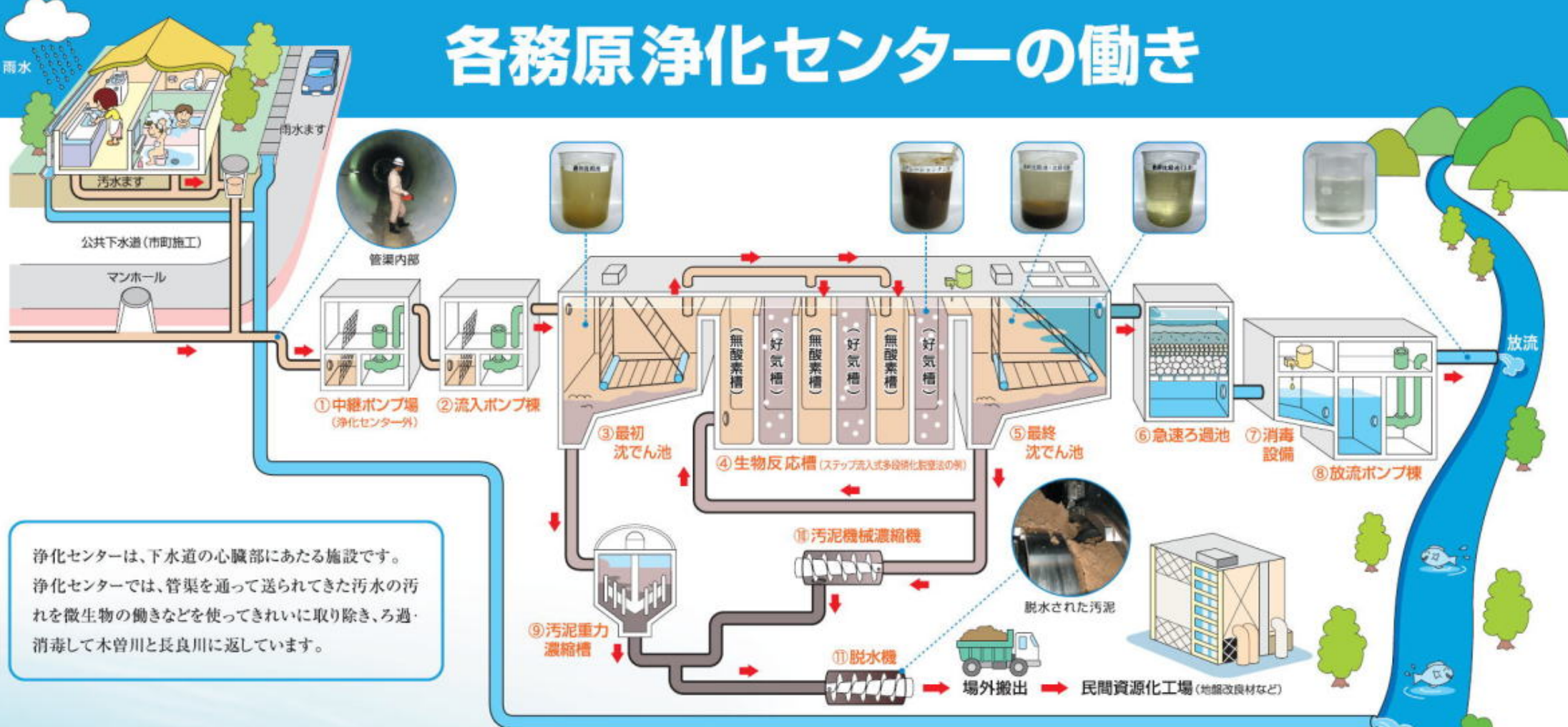


各務原浄化センターの働き



浄化センターは、下水道の心臓部にあたる施設です。浄化センターでは、管渠を通して送られてきた汚水の汚れを微生物の働きなどを使ってきれいに取り除き、ろ過・消毒して木曾川と長良川に返しています。

① 中継ポンプ場 (浄化センター外)

汚水を一旦汲み上げて、スムーズに浄化センターまで流します。

② 流入ポンプ棟

ゴミなどをスクリーン(柵)で取り除いた後、汚水をポンプで水処理施設へ送ります。

③ 最初沈でん池

汚水を約1時間半かけてゆるやかに流します。この間に沈でんしやすいドロなどの固形物の大部分が沈でんするので、かき寄せて⑨汚泥重力濃縮槽に送ります。

④ 生物反応槽

汚水に活性汚泥(微生物を多量に含んだドロ)を加え、約12時間かけてかき混ぜたり、空気を加えたりします。この間に微生物が、汚水の汚れを食べたり、くっついていたりして、ふわふわした綿毛状の塊になり沈でんしやすくなります。取りきれない汚れには薬品を使って塊にします。

⑤ 最終沈でん池

塊になった活性汚泥を約4時間半かけて池の底に沈め、きれいな上澄みの水は急速ろ過池に流します。池底の活性汚泥は生物反応槽へ返送すると共に、一部の余分な汚泥は⑩汚泥機械濃縮機に送ります。

⑥ 急速ろ過池

砂の層を通すことによって水中の小さな浮遊物を取り除きます。

⑦ 消毒設備

⑥急速ろ過池から送られてきた水に、薬品を注入して滅菌します。

⑧ 放流ポンプ棟

きれいになった水をポンプで川に流します。

⑨ 汚泥重力濃縮槽

③最初沈でん池の汚泥を自然に沈でんさせ、さらに濃い汚泥にします。

⑩ 汚泥機械濃縮機

⑤最終沈でん池の汚泥は非常に軽く、⑨では濃縮できないので、この機械で強制的に水分を取り除いて濃縮します。

⑪ 脱水機

汚泥を脱水し、扱いやすいドロ状にします。脱水後の汚泥は、場外搬出処分します。



中央管理室



水質検査



透視度測定



建設中施設

雨水排水路

